

大臣管理区間

・大井川の大井川大臣管理区間は、河口から約24km区間と長島ダムの上流の大臣管理区間として約16km区間である。

河川・ダム		区 間	管理延長
大井川		河口～24.2km	24.8km
長島ダム	大井川	大井川82.8km～ 98.6km	15.78km
	関ノ沢川	大井川合流点～ 関ノ沢1.0km	1.0km



大井川大臣管理区間の状況(H18.1撮影)



長島ダム大臣管理区間の状況(H18.3撮影)



- ・大井川は流域面積1,280km²、流路延長168kmの南北に長い河川
- ・上流部は急峻な地形、脆弱な地質、多量の降雨により大規模崩壊地が多く土砂流出が多い
- ・中流部は蛇行した河川形態をとり、河川沿いの段丘上に集落が点在
- ・下流部は広大な扇状地が広がり、人口・資産が集積



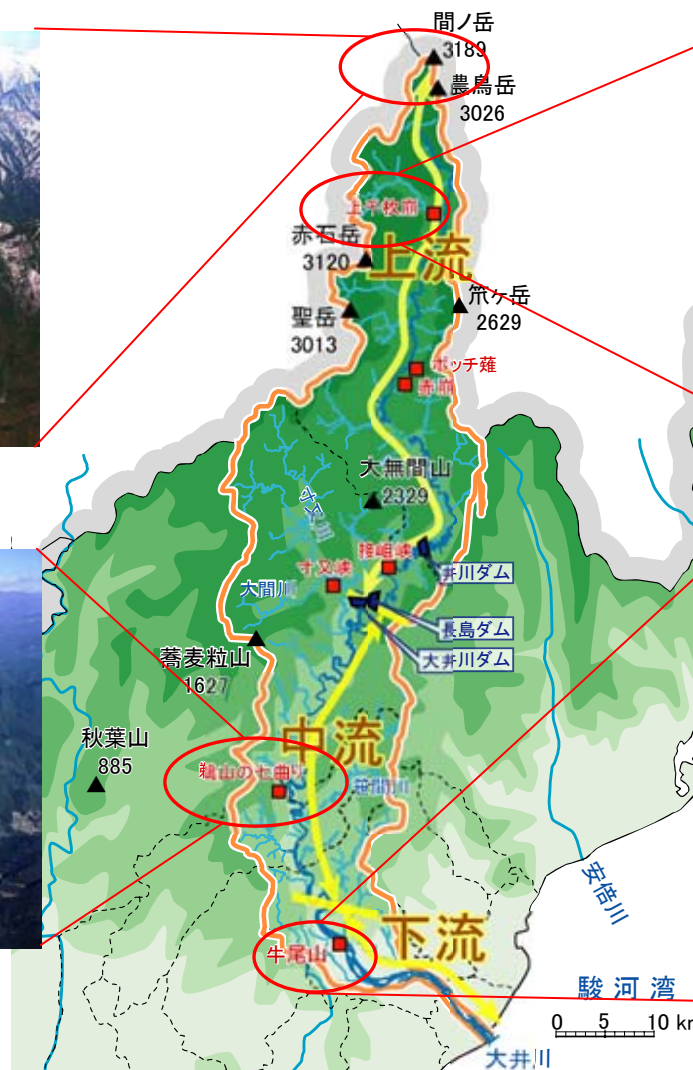
大井川の源流部



かみせんまい
上千枚崩

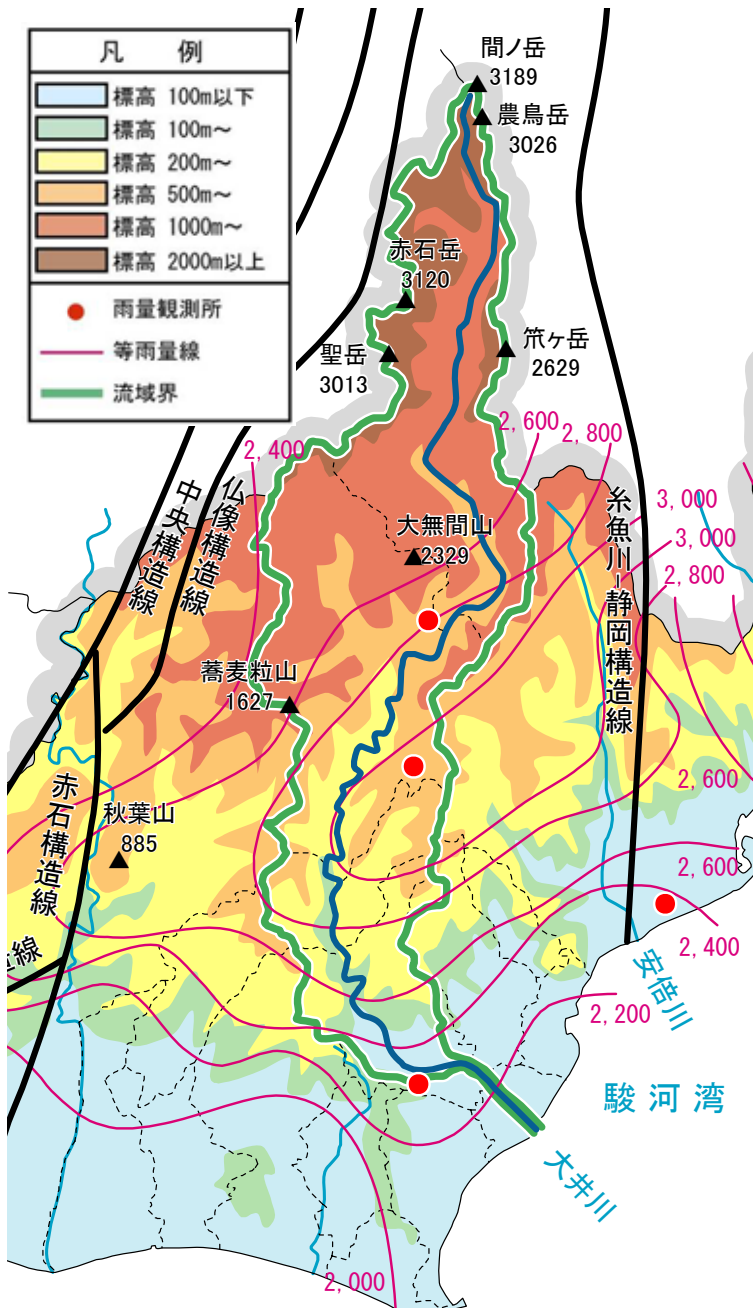


うやま ななまが
「鵜山の七曲り」といわれる穿入蛇行



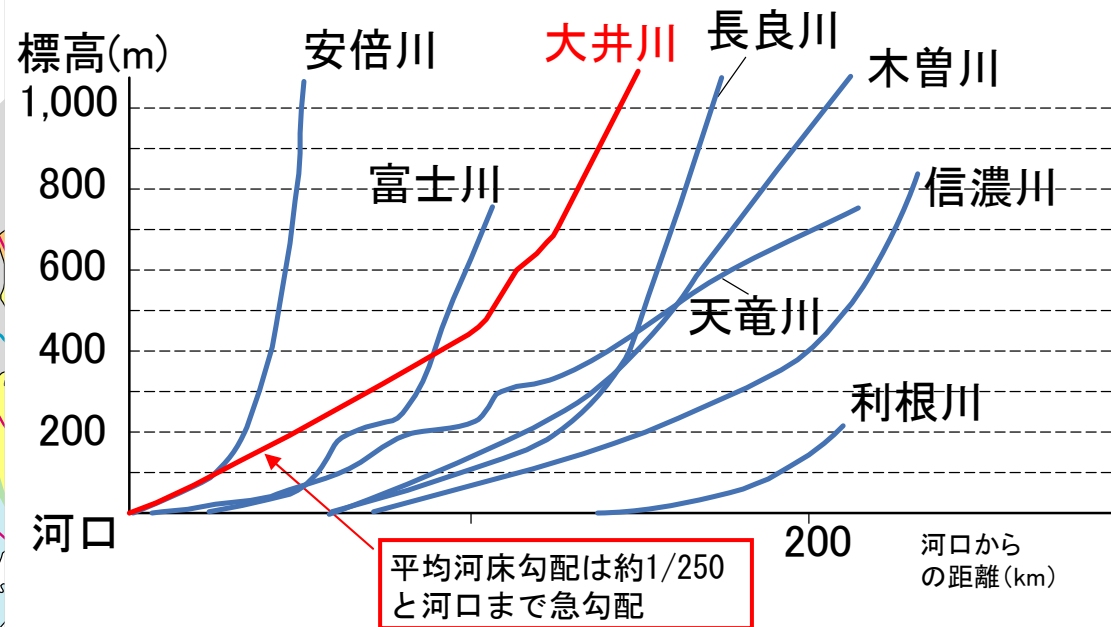
牛尾山

下流部に広がる扇状地



地形・地質と特性

- ・源流は南アルプス(赤石山脈)で地形が非常に急峻
- ・中央構造線、糸魚川-静岡構造線に挟まれ地質は非常に脆弱

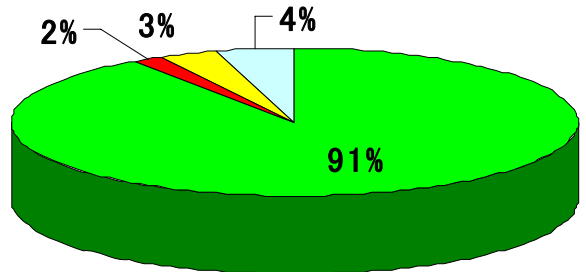
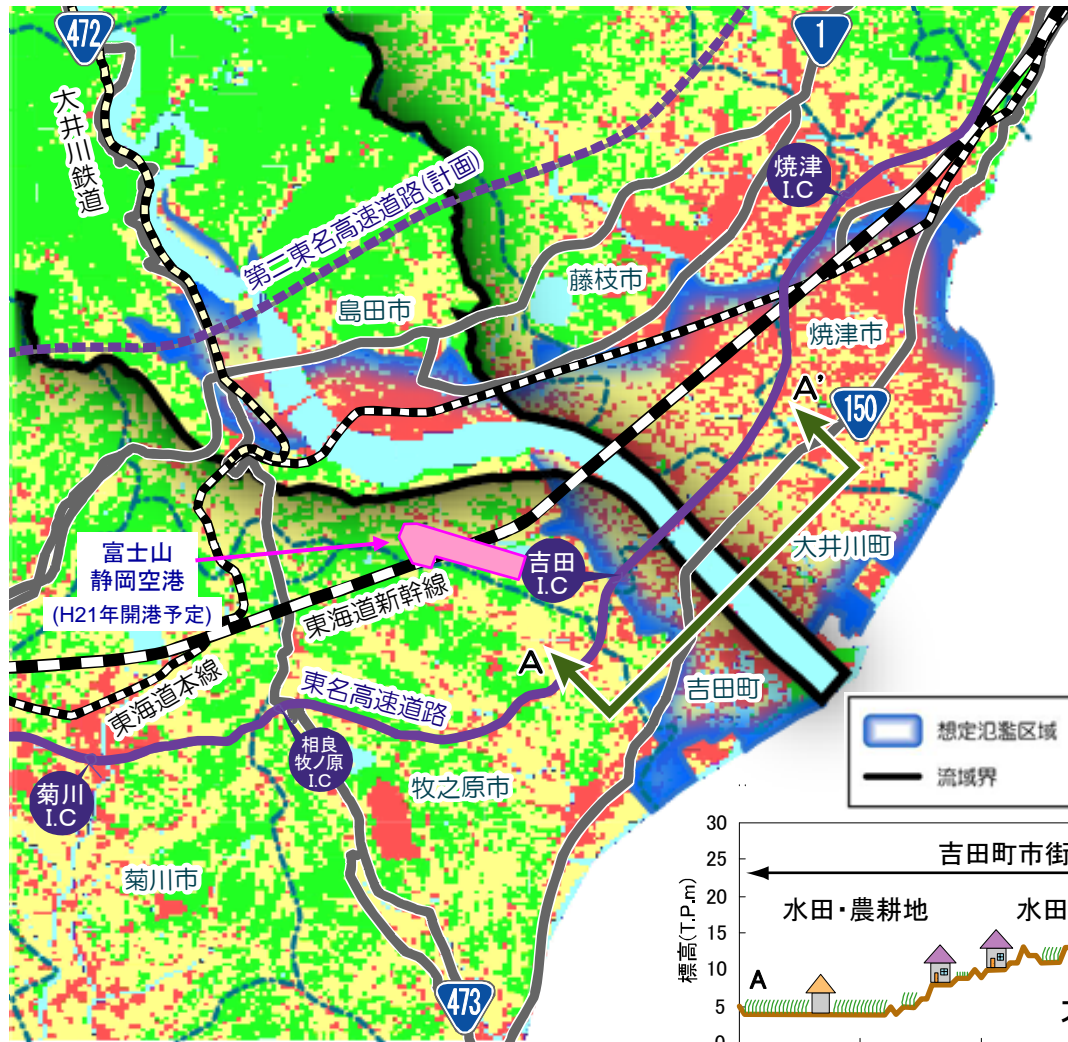


降雨特性

- ・大井川流域は日本屈指の多雨地帯
- ・平均年間降水量は
山間部: 約2,400~3,000mm
平野部: 約2,000mmであり、全国平均約1,700mmよりも多い

第1章 第1節 第1項 流域及び河川の概要4

- ・下流部は東名高速道路、国道1号、東海道新幹線、東海道本線等が横断する交通の要衝
- ・下流部沿川には工場、住宅地が密集し資産額が大きい
- ・下流部は河口に至るまで扇状地を流れる急勾配の天井川で、ひとたび氾濫すると被害が甚大



- ・流域の約90%が山地等
- ・市街地は下流部に集中 (島田市、藤枝市、焼津市等)

想定氾濫区域面積 : 131km²
 想定氾濫区域内人口 : 約30万人
 想定氾濫区域内資産 : 約4.4兆円

※出典: 第7回河川現況調査(調査基準年H7年度末)
 人口はH7年国勢調査、資産はH8年事業所統計より算定

